丹波市総合計画　令和5年度　施策評価シート

まちづくりの目標	6	丹波力を活かした創意ある元気なまち
施策目標	3	【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう
施策の展開	① ② ③	観光資源の魅力を高める ストレスを感じることなく、観光を楽しめる環境を整備する 丹波市の観光を基幹産業化する

施策担当課	観光課
関係課	観光課

1　施策の現状・推移

5年後のまちの姿	・魅力ある観光地や本市の特産品を使った食事や土産物が楽しめます。 ・観光に係る環境整備が進み、観光客の満足度は高まり、リピーターが増加しています。

2　成果指標・コストの推移

		単位	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
成果指標	年間観光入込客数	万人	目標	230	240	248	255	263	270	
			実績	222.3	157.6	171.7	197.0	195.3		
	来訪者の満足度	%	目標	－	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0	
			実績	76.8	82.2	81.0	74.8	75.0		
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
コスト	人件費	千円	実績	61,734	78,940	75,660	67,030	56,782	—	
	事業費	千円	実績	210,494	260,435	416,242	280,078	165,592	—	
	計	千円	実績	272,228	339,375	491,902	347,108	222,374	—	
	うち一般財源	千円	実績	244,421	224,445	233,535	182,808	173,996	—	

3　環境変化

国・県の方針、関連法令の動向	【国】インバウンド再始動にあたり、インバウンド関連の支援事業に力を入れている。 【県】大阪・関西万博の関西広域パビリオンに兵庫棟を出展しひょうごの魅力PRや、兵庫県全域をパビリオンに見立てた「ひょうごフィールドパビリオン」の展開により、万博会場から兵庫県への誘客促進を行い、万博後につながる誘客・周遊促進を目指す。また、2030年神戸空港国際化を契機としてインバウンド客の県内周遊及び宿泊につながる施策を検討。
市民ニーズの動向	・旅行形態が、コロナ禍中は団体旅行から個人旅行に変化していたのが、コロナ回復と比例して団体旅行が回復傾向にある。 ・インバウンドにおいても回復傾向で、国内の主要観光地のオーバーツーリズム化。

4　評価

目標の達成状況は順調か。達成していない原因は何か。	・観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に減少した以降回復傾向にあるが、令和元年度の222万人にまで回復していない状況で目標達成に至っていない。 ・来訪者の満足度は、70％～80％台を推移しており、ほぼ目標を達成している。 ・コストは、重点道の駅丹波おばあちゃんの里再整備が令和4年度で完了したことから、コストは減少している。
環境変化を踏まえた施策展開となっているか。	・コロナ禍からの回復に伴う国内旅行者の増加に伴い、観光サイト「SATURDAY TAMBA」ホームページとInstagramによる情報発信と各種広告媒体による情報発信、各種イベントでのPR活動により、丹波市の認知度向上と来訪促進を図った。 ・周遊バス旅行補助により、団体バス旅行者の来訪促進と地域消費の拡大を図った。
事業の構成や役割分担で見直しの余地がないか。	―

5　今後の改革方向

施策の今後の方向性、構成する事務事業の見直し案	・認知度の向上、誘客及び周遊の促進、地域消費額の増大を図るため、2025年大阪・関西万博とその後を見据え、また、2030年神戸空港国際化を契機とした観光振興事業を展開していく。 ・指定管理者導入施設、公園等の適切な維持管理と効果的な利用について協議を行っていく。

●構成する事業一覧　（令和　5　年度実施事業）

事務事業名	予算小事業名	人件費【千円】	事業費【千円】	計・千円	うち一般財源	必要性	効果性	コスト	公平性
観光振興事業		24,068	59,999	84,067	58,598	A	B	B	該当なし
	観光総務費								
	観光振興事業								
公園・公衆トイレ維持管理事業		14,006	19,763	33,769	25,469	A	A	B	該当なし
	公衆トイレ維持管理事業								
	公園管理事業								
指定管理者導入施設管理事業（観光課）		16,693	76,337	93,030	87,700	A	B	B	A
	指定管理者導入施設管理事業								
受託施設管理事業		2,015	9,493	11,508	2,229	A	B	A	該当なし
	受託施設管理事業								
合計		56,782	165,592	222,374	173,996				

丹波市総合計画　令和　5　年度事務事業評価　／　令和　6　年度実施計画

事務事業名	観光振興事業				
事業担当課	産業経済部　観光課			事業期間	平成　18 ～　令和9　年度
	所属長	川島　知記	担当	藤原　宏康	担当

位置づけ			
	総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち
		施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	(7)観光による地域振興
	根拠法令・個別計画等	観光立国推進基本法、丹波市観光・商工業振興ユニティプラン	

計画（PLAN）					
事務事業	対象（誰を、何を）	本市を訪れた観光客、本市を訪れたことのない観光客、観光関連の事業者			
	目的 ベストな状態 （期待される効果）	・多くの観光客が本市の魅力を知り、市内への来訪者が増加する。 ・観光資源の研磨・活用と本市の魅力発信により、本市の認知度及び丹波市ファンが増加する。 ・観光推進組織（丹波市観光協会）による市内周遊の促進と、地域が儲かる仕組が構築するなどにより観光が基幹産業になっている。			
	概要 （具体的手段・全体計画）	・観光資源の研磨・活用 ・観光情報の発信（観光サイトSaturdayTamba・リーフレット・広告等） ・補助金による支援（丹波市観光協会補助、周遊バス旅行促進事業補助、観光施設整備事業補助） ・観光の拠点施設（「重点道の駅」丹波おばあちゃんの里）再整備（令和4年度完了） ・観光推進組織（丹波市観光協会）による観光戦略事業 ・丹波市周遊デジタルマップ運用による市内周遊の促進			
	令和５年度の事業概略	・各団体への補助金交付と事業確認 ・大阪・関西万博とその後を見据えた観光振興事業の検討 ・観光情報サイトでの情報発信 ・各種広告による情報発信 ・青垣、山南地域周遊旅行商品の検討 ・イベント参加（兵庫ＤＣ・お城ＥＸＰＯほか）	令和６年度の事業概略	・各団体への補助金交付と事業確認 ・丹波市観光アンバサダーによる魅力発信 ・大阪・関西万博を契機とした丹波市誘客促進事業 ・丹波市周遊デジタルマップの導入 ・観光情報サイト及び各種広告による情報発信 ・イベント参加（ラジオ関西祭、山城サミット、大阪春節祭ほか）	

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出	総事業費　Ａ＋Ｂ	132,919	98,607	348,364	171,278	84,067	110,422	
	直接事業費Ａ	90,475	58,506	319,038	136,176	59,999	86,354	
	総人件費計（Ｅ＋Ｈ）Ｂ	42,444	40,101	29,326	35,102	24,068	24,068	
	職員従事者数（人・年）Ｃ	5.46	4.11	3.48	4.36	2.83	2.83	
	【平均人件費】Ｄ	7,400	7,460	7,620	7,430	7,540	7,540	
	人件費Ｅ＝Ｃ×Ｄ	40,404	30,661	26,518	32,395	21,338	21,338	
	会計年度任用職員従事者数（人・年）Ｆ	1.02	4.00	1.19	1.07	1.00	1.00	
	【平均人件費】Ｇ	2,000	2,360	2,360	2,530	2,730	2,730	
	人件費Ｈ＝Ｆ×Ｇ	2,040	9,440	2,808	2,707	2,730	2,730	
歳入	特定財源	10,967	7,280	249,738	99,655	25,469	48,057	
	国・県支出金	10,654	7,005	156,926	35,454	7,747	16,736	
	借入金（地方債）	0	0	92,800	56,900	2,400	0	
	受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
	その他特財	313	275	12	7,301	15,322	31,321	
	一般財源	121,952	91,327	98,626	71,623	58,598	62,365	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	観光ホームページ、SNSの総レビュー件数（SaturdayTamba）	件	目標	-	200,000	229,000	235,000	257,000	260,000	
			実績	-	251,054	119,524	264,707	143,198		
成果	「道の駅」丹波おばあちゃんの里入込客数	人	目標	-	260,000	400,000	430,000	460,000	500,000	
			実績	370,344	282,123	252,423	393,696	394,784		
活動	メディアへの観光情報のプレスリリース回数	回	目標	-	5	10	10	10	10	
			実績	7	3	13	7	5		
			目標							
			実績							
コスト	観光ホームページ１レビュー当たり（観光振興事業のうち負担金補助を除く経費）	円	目標	-	26.0	59.0	91.4	44.4	59.2	
			実績	-	19.4	102.9	53.3	56.9		
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析

観光サイトSaturdayTambaの総レビュー件数は、前年度対比で121,509件の減少となった。内訳としてHPは約7,000件増加したが、Instagramは前年度と同回数の情報を発信したものの約128,000件減少した。理由としては、見る人にとって興味がある投稿が少なかったことが一因としてあるのではないかと分析している。
道の駅丹波おばあちゃんの里入込客数は、リニューアルオープン効果もあり令和４年度は393,696人と大幅に増加し、令和５年度も勢いそのままで約1,000人の増加となった。コストは、事業費は前年度より減少したが、観光サイトの総レビュー件数も減少したため、前年度とほぼ変わらず、１レビュー56.9円という結果になった。

事務事業名	観光振興事業		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　令和9　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	丹波市の魅力発信により認知度を向上させるとともに、誘客及び周遊促進、地域内消費が増加により地域活性化につなげるために重要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	・メディアリリース回数は、令和４年度から減少傾向にあるが、道の駅丹波おばあちゃんの里リニューアルが終わったものである。 ・観光ホームページ（SaturdayTamba）１レビュー当たりのコストも減少傾向にあり、効率的な事務執行が行えている。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	・観光情報の発信による認知度向上については、SATURDAYTAMBAのプレビュー数は年度で波がある。また、各種広告によるＰＲは、掲載後の電話での問い合わせがあり成果を実感している。 ・道の駅丹波おばあちゃんの里の入込数は、リニューアル効果により増加しており、観光戦略による市内周遊やイベント補助、周遊バス補助による誘客及び周遊促進ができている。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
コロナの影響がなくなってきたことで、市内周遊バス旅行補助金や丹波市観光協会が行っているイベント補助金による丹波市誘客・周遊促進ができている。

【課題】
市外で開催されるイベントでは、丹波市とその魅力が知られていないことを感じることが多々ある。また、丹波市への入込客数は195万３千人とコロナ前にも回復していない状況から、認知度向上、誘客、周遊促進につながる施策の展開が課題である。

今後の方向性・改善策等

大阪・関西万博とその後を見据え、市外イベントやWeb広告等を効果的に行い認知度向上とともに、誘客促進と来訪した方が地域を楽しめる周遊促進につなげ、地域活性化を図れる事業を行う。

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				✓
現状維持				
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	観光総務費	1,117	1,199	1,268	1,127	1,745	
2	観光振興事業	39,522	49,578	58,279	58,872	84,609	
3	観光拠点整備事業	7,162	124,127	72,475			
4	大河ドラマを活かした観光推進事業	10,705					
5	観光振興事業（繰越分）		7,625				
6	観光拠点整備事業（繰越分）		136,509	4,154			
7							
8							
9							
10							
合計		58,506	319,038	136,176	59,999	86,354	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	

丹波市総合計画　令和　5　年度事務事業評価　／　令和　6　年度実施計画

事務事業名	公園・公衆トイレ維持管理事業				
事業担当課	産業経済部　観光課			事業期間	平成　18　～　無期　年度
	所属長	川島　知記	担当	中川　秀晴	担当　畑　幸一

位置づけ			
総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち	
	施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう	
創生総合戦略	基本目標		
	施策		
まちづくりビジョン	取組項目	(7)観光による地域振興	
根拠法令・個別計画等	丹波市観光・商工業振興ユニティプラン		

計画（PLAN）				
事務事業	対象（誰を、何を）	公園、公衆便所利用者		
	目的 ベストな状態 （期待される効果）	各施設において適切に維持管理を行い、利用者が、安全・安心、そして清潔で気持ちよく利用できる。		
	概要 （具体的手段・全体計画）	・公園（水分れ公園、川代公園、井原であい公園、桜堤公園、長谷大池展望台、横峰山頂公園）の維持管理 ・公衆便所（柏原町観光トイレ、甲賀山公園公衆便所、岩瀧寺渓谷公衆便所、もみじの里公衆便所、仏師の里公衆便所、興禅寺下休憩所トイレ、石龕寺下公衆便所、やぐら公園トイレ、大名草公衆便所【近畿自然歩道】、谷川駅前公衆トイレ）の維持管理 ・実施方法：業務委託 ・委託先　公園管理：（公財）丹波市シルバー人材センター、（株）ネクステ、上久下地区自治振興会、井原自治会、国領自治会、上垣市島ジュニアの会 公衆便所：成松連合区、大名草自治会		
	令和５年度の事業概略	・公園管理及び草刈り剪定業務、保守管理委託 ・公衆便所維持管理業務 ・浄化槽保守点検業務 ・清掃業務 ・土地及び建物賃貸借契約の締結 ・水分れ公園こども広場リニューアル ・水分れ公園人工滝ポンプ場改修工事（繰越）	令和６年度の事業概略	・公園管理及び草刈り剪定業務、保守管理委託 ・公衆便所維持管理業務 ・浄化槽保守点検業務 ・清掃業務 ・水分れ公園及び川代公園防犯カメラ設置工事 ・土地及び建物賃貸借契約の締結

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出　総事業費　A＋B	26,717	62,702	34,613	68,479	33,769	28,261	
直接事業費A	19,993	49,519	18,558	54,924	19,763	14,255	
総人件費計（E＋H）B	6,724	13,183	16,055	13,555	14,006	14,006	
職員従事者数（人・年）C	0.86	1.59	1.98	1.30	1.30	1.30	
【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,540	7,540	
人件費Ｅ＝Ｃ×Ｄ	6,364	11,861	15,088	9,659	9,802	9,802	
会計年度任用職員従事者数（人・年）F	0.18	0.56	0.41	1.54	1.54	1.54	
【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,730	2,730	
人件費Ｈ＝Ｆ×Ｇ	360	1,322	968	3,896	4,204	4,204	
歳入　特定財源	260	34,849	291	47,765	8,300	993	
国・県支出金	206	475	206	31,957	206	206	
借入金（地方債）	0	34,300	0	12,200	8,000	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
その他特財	54	74	85	3,608	94	787	
一般財源	26,457	27,853	34,322	20,714	25,469	27,268	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	公園利用者数	人	目標	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	
			実績	41,127	35,512	25,410	71,143	71,855		
活動	公衆便所清掃回数	回	目標	-	790	790	790	790	790	
			実績	-	790	801	800	794		
活動	トラブル対応件数	件	目標	-	0	0	0	0	0	
			実績	-	11	20	18	20		
			目標							
			実績							
コスト	公園１施設当たりコスト（工事請負費を除く）	千円	目標	-	-	3,160	3,160	3,160	3,160	
			実績	-	3,161	2,893	3,035	2,652		
コスト	公衆便所１施設当たりコスト（工事請負費を除く）	千円	目標	-	-	800	800	800	800	
			実績	-	800	954	865	888		

指標の推移等の背景・分析	利用者数が増加した要因としては、水分れフィールドミュージアムとの相乗効果、水分れ公園こども広場のリニューアル及び人工滝ポンプ場の改修工事の実施に加え、新型コロナウイルス感染症が第５類に移行したことが考えられる。 公園及び公衆便所の１施設当たりコストは、賃金が大幅に上がったことが大きく影響している。

事務事業名	公園・公衆トイレ維持管理事業		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	公園は市内外の方々にとって憩いの場であり、子育て等を応援するまちづくりをするうえで必要な事業である。 また、公衆便所はイベント時、桜や紅葉等の時期に観光目的等で来られた際に利用されることが多く、両事業とも必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	維持管理については、丹波市シルバー人材センター、（株）ネクステ、振興会及び自治会等となっており、既に低コストで実施している。必要な経費のほとんどが人件費であり、コスト削減は困難である。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	A	指標に対する評価として、水分れフィールドミュージアムとの相乗効果、公園のリニューアル工事等もあり、利用者数が大幅に増加した。 １施設当たりのコストについては、賃金等の上昇もあるため、増加傾向にある。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
・令和４年度から繰越していた水分れ公園人工滝のポンプ場更新工事を完了することができた。
・川代公園の利用について、電話やFAXにより受付けていたが、ネットによる受付になったことで事務手続きが軽減できた。

【課題】
・トラブルに対する対応策の検討
・将来に向けた整備に係る各施設の状況把握

今後の方向性・改善策等

・設備の改修は、ある程度完了したが、老朽化していく躯体等の改修計画の策定及び実施

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				
現状維持			✓	
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	公衆トイレ維持管理事業	5,106	9,265	13,807	3,861	5,095	
2	公園管理事業	38,691	9,293	34,317	6,922	9,160	
3	過年発生分観光施設災害復旧事業	5,722					
4	公衆トイレ維持管理事業（繰越分）			2,068			
5	公園管理事業（繰越分）			4,732	8,980		
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		49,519	18,558	54,924	19,763	14,255	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	

丹波市総合計画　令和　5　年度事務事業評価　／　令和　6　年度実施計画

事務事業名	指定管理者導入施設管理事業（観光課）				
事業担当課	産業経済部　観光課			事業期間	平成　18 ～　無期　年度
	所属長	川島　知記	担当	中川　秀晴	担当　細見　成一

位置づけ			
総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち	
	施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう	
創生総合戦略	基本目標		
	施策		
まちづくりビジョン	取組項目		
根拠法令・個別計画等	丹波市観光・商工業振興ユニティプラン		

計画（PLAN） 事務事業			
対象（誰を、何を）	指定管理者に指定された団体及び施設利用者		
目的 ベストな状態 （期待される効果）	観光課が所管する公の施設の管理・運営を行う上で、民間のノウハウを導入または施設に特化した独自の方法により、施設利用者の消費拡大、市民雇用の増加などにより地域の活性化が図れる。		
概要 （具体的手段・全体計画）	・指定管理者導入施設（丹波悠遊の森、旧氷上高等小学校校舎、ウッディプラザ山の駅、丹波いっぷく茶屋、今出川親水公園、ゆりやまスカイパーク、薬草薬樹公園、大杉ダム自然公園）の健全運営に対する支援及び施設の躯体にかかる大規模工事及び修繕を実施する。 ・今後の施設のあり方（選定方法、譲渡・廃止等）を検討する。 ・実施方法：指定管理 ※ゆりやまスカイパークは、指定管理者不在		
令和５年度の事業概略	・年度協定の締結 ・丹波悠遊の森常設テント基礎改修工事 ・丹波悠遊の森浴室等改修工事実施設計業務 ・今出川親水公園整備工事 ・土地賃貸借契約の締結	令和６年度の事業概略	・年度協定の締結　・モニタリングの実施 ・丹波市立旧氷上高等小学校校舎の指定 ・丹波悠遊の森キャンプサイト及び施設等改修工事 ・大杉ダムオートキャンプ場コインシャワー更新工事 ・薬草薬樹公園機械設備等改修工事実施設計業務（令和５年度繰越） ・薬草薬樹公園浄化槽設備更新工事　・土地賃貸借契約の締結

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出　総事業費　A＋B	103,152	166,375	97,021	97,212	93,030	129,937	
直接事業費A	91,770	144,449	70,336	80,821	76,337	113,244	
総人件費計（E＋H）B	11,382	21,926	26,685	16,391	16,693	16,693	
職員従事者数（人・年）C	1.33	2.80	3.09	2.08	2.08	2.08	
【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,540	7,540	
人件費E＝C×D	9,842	20,888	23,546	15,454	15,683	15,683	
会計年度任用職員従事者数（人・年）F	0.77	0.44	1.33	0.37	0.37	0.37	
【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,730	2,730	
人件費H＝F×G	1,540	1,038	3,139	936	1,010	1,010	
歳入　特定財源	8,537	64,836	26	13,523	5,330	40,267	
国・県支出金	0	7,868	0	13,492	0	0	
借入金（地方債）	4,000	56,500	0	0	5,300	33,237	
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
その他特財	4,537	468	26	31	30	7,030	
一般財源	94,615	101,539	96,995	83,689	87,700	89,670	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	施設利用者数	人	目標	210,000	180,000	183,600	187,200	190,800	194,400	令和２年度を基本 毎年度２％増
			実績	174,564	103,461	113,173	128,453	132,141		
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
コスト	１施設当たりコスト	千円	目標	-	-	11,580	12,947	12,947	12,947	
			実績	-	11,580	11,612	14,193	9,390		
コスト	指定管理料0円の施設数	施設	目標	-	9	9	8	8	8	
			実績	-	3	3	2	2		

指標の推移等の背景・分析	
	・利用者数は、徐々にではあるが上昇傾向にあるがまだまだコロナ禍前には及ばない状況が続いている。各指定管理者も利用者増に向け取り組んではいるが、目標としている人数には数年かかる見込みである。 ・１施設当たりのコストについては、ここ数年の物価上昇や賃金の高騰等があり、これまでと同様の管理ではコストは上昇していく傾向ににある。

事務事業名	指定管理者導入施設管理事業（観光課）		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	各施設の条例において指定管理者に行わせるものとなっており、住民の福祉の向上や観光振興等を目的とした公の施設であるため、必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	各施設は、指定管理者により管理運営を行っており、業態や施設規模等が違うため、サービスの提供を維持しつつ、低コストを実現するのは難しい面がある。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	目標値を達成することができなかったが、コロナウイルス感染症が第５類に移行したことも利用者増につながった要因の一つだと考える。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	A	施設によってではあるが、利用料金制を採用し、料金を指定管理者が定め、受益者（利用者）からもらっているため問題はない。

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
・指定管理者により適正に維持管理ができている。
・指定管理者同士の連携会議を開催し、情報共有等が図れている。また、インスタを登録し、更なる利用者増を目指している。

【課題】
・モニタリング評価に対する対応
・指定管理料の軽減やガイドラインの見直し
・整備計画に係る各施設の躯体や設備等の状況把握
・薬草薬樹公園の在り方（漢方の里総合運動公園としての指定管理　令和11年度～）

今後の方向性・改善策等

・指定管理者同士の連携の強化
・老朽化が進んでいく施設の改修計画の策定と実施
・薬草薬樹公園の所管替え（令和８年度以降）

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				
現状維持			✓	
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	指定管理者導入施設管理事業	121,779	70,336	80,821	76,337	113,244	
2	指定管理者導入施設管理事業（繰越分）	22,670					
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		144,449	70,336	80,821	76,337	113,244	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	

丹波市総合計画　令和　5　年度事務事業評価　／　令和　6　年度実施計画

事務事業名	受託施設管理事業				
事業担当課	産業経済部　観光課			事業期間	平成　18　～　無期　年度
	所属長	川島　知記	担当	中川　秀晴	担当　細見　成一

位置づけ			
総合計画	まちづくり目標	【６】丹波力を活かした創意ある元気なまち	
	施策目標	3【観光】おもてなしで来訪者を迎え、丹波市の魅力を伝えよう	
創生総合戦略	基本目標		
	施策		
まちづくりビジョン	取組項目		
根拠法令・個別計画等	丹波市観光・商工業振興ユニティプラン		

計画（PLAN）			
事務事業	対象（誰を、何を）	受託施設に訪れた利用者	
	目的 ベストな状態 （期待される効果）	受託施設（国道175号山南休憩施設、簡易パーキング氷上）を活用し、観光客への観光情報の発信及び「おもてなしの心」を基本とし、本市のイメージアップにつなげる。	
	概要 （具体的手段・全体計画）	受託施設の適切な維持管理と観光情報の発信を行う。 ・実施方法：業務委託 ・委託先：国道175号山南休憩施設⇒小川地区自治振興会 簡易パーキング氷上⇒（一社）丹波市観光協会	
	令和５年度の事業概略	・国道175号山南休憩施設維持管理業務 ・簡易パーキング氷上維持管理業務 ・交通誘導警備業務	令和６年度の事業概略 ・国道175号山南休憩施設維持管理業務 ・簡易パーキング氷上維持管理業務 ・交通誘導警備業務

実施（DO）

コスト（単位：千円） （評価年度は実績、計画年度は予算）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
歳出　総事業費　Ａ＋Ｂ	9,440	11,691	11,904	10,139	11,508	12,714	
直接事業費Ａ	8,256	7,961	8,310	8,157	9,493	10,699	
総人件費計（Ｅ＋Ｈ）Ｂ	1,184	3,730	3,594	1,982	2,015	2,015	
職員従事者数（人・年）Ｃ	0.16	0.50	0.45	0.26	0.26	0.26	
【平均人件費】Ｄ	7,400	7,460	7,620	7,430	7,540	7,540	
人件費Ｅ＝Ｃ×Ｄ	1,184	3,730	3,429	1,932	1,960	1,960	
会計年度任用職員従事者数（人・年）Ｆ	0.00	0.00	0.07	0.02	0.02	0.02	
【平均人件費】Ｇ	2,000	2,360	2,360	2,530	2,730	2,730	
人件費Ｈ＝Ｆ×Ｇ	0	0	165	51	55	55	
歳入　特定財源	8,043	7,965	8,312	8,157	9,279	10,471	
国・県支出金	7,801	7,716	8,068	7,876	9,006	10,128	
借入金（地方債）	0	0	0	0	0	0	
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	
その他特財	242	249	244	281	273	343	
一般財源	1,397	3,726	3,592	1,982	2,229	2,243	

	指標名	単位		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	備　考
成果	施設利用者数	人	目標	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000	
			実績	92,223	79,705	63,244	88,786	86,925		
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
			目標							
			実績							
コスト	1施設当たりコスト	千円	目標	-	-	5,953	5,070	5,754	6,357	
			実績	-	5,846	5,952	5,527	5,754		
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析	
	新型コロナウイルス感染症が第５類に移行し、感染症による影響はほとんどなくなったが、令和元年度と比較すると約５％減少している。 １施設当たりのコストは、ほぼ横ばいで推移しているが、物価高騰等により維持管理費は上昇している。

事務事業名	受託施設管理事業		
事業担当課	産業経済部　観光課	事業期間	平成　18 ～　無期　年度

評価（CHECK）

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について

評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	休憩施設としてだけでなく、観光情報の発信拠点としての役割や市内周遊を促進するため必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	A	維持管理に係る費用は国からの委託金で賄っており、経費の大半が人件費となっているため、コスト削減は困難である。
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	コロナ禍による影響はほとんどなくなったが、まだまだ目標値には達成していない状況である。 指定管理施設が併設されており、その運営状況も重要になってくる。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	該当なし	

改革（ACTION）

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）

【評価】
・両施設とも簡易パーキングではあるが、道路情報をはじめ、市の観光情報の発信ができている。

【課題】
・受託者となる候補者が少ない。

今後の方向性・改善策等

・両施設とも経費の大半を人件費が占めており、安定的に人材を確保する仕組みを構築する。

成果・コストの方向性

成果の方向性 ＼ コスト投入の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大
拡充				
現状維持			✓	
縮小				
休廃止				

●構成する予算小事業一覧　（単位：千円）

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	受託施設管理事業	7,961	8,310	8,157	9,493	10,699	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		7,961	8,310	8,157	9,493	10,699	

●外部評価　【　　】年度実施

指摘事項など		対応状況	